



場内は4台の大型モニター、中2階からも観戦でき、喫煙可能な屋外にも席がある。そのすべてが今晩はほぼ満席。

この時までは日本の勝利を信じ、会場の熱気は最高潮に達していた。

ここは、今回の宿泊ホテルすぐそばにあるスポーツバー。

ワールドカップ決勝トーナメント第一回戦、相手はクロアチア。

前半に先制のゴールを見事に決め、ハーフタイムに入ったところである。

観戦は、日本人はもちろんだが、大半はフィリピン人。

キックオフのホイッスルと同時に選手の一挙手一投足に歓声あがる。

前半でゴールがき決まったときは絶叫のなか、全員総立ちでの大拍手。

その後も“NIPPON “NIPPON”の掛け声が会場内に響き渡り、私も声を張り上げる。

しかし後半、同点のゴールを決められ、その後延長戦、そしてP K戦となり、場内の祈りもむなしく負けてしまった。

会場を後にホテルに帰る道すがら、“NIPPON “NIPPON”と叫ぶ、フィリピン人の声が脳内に響く。

実は、以前、この同じ場所で日本チーム出場のワールドカップを観戦していたのだ。

2010年6月の南アフリカ大会、予選リーグでの対パラグアイ戦だった。

この時もP K戦で敗退という結果ではあったが、あの時も同じ“NIPPON “NIPPON”のフィリピン人の大声援があった。

時10年以上を経た今も、変わらぬフィリピン人の日本人に対する心情。

これは互いの信頼からくるものに違いない。

フィリピン、万歳！！